



BMT(バイオメカセラピー) 講習会のご案内

バイオメカセラピー(BMT)は、人間工学に基づいて体系化された理学療法の新しいコンセプトです。

患者の日常生活活動を制限する要因を動作能力という側面から分析し、動作障害を治療するための基本コンセプトです。

このBMT オフィシャルコースは、他の講習会では学習できない完全オリジナルの講習・実技コースです。

BMT シニアインストラクター

石井慎一郎(理学療法士/保健医療学博士/同慶医療福祉大学大学院 教授)

BMT OFFICIAL WEB SITE : <http://www.bmt141.jp/>

※BMT セミナーでは参加者の方へ復習用動画配信を致します。

※詳細確認・お申し込みは BMT ホームページよりお願い致します。

BMTオフィシャル動作分析コース 6days in 東京

定員60名!

- ①6月07日(日) 寝返り動作分析セミナー
- ②6月21日(日) 起き上がり動作分析セミナー
- ③6月28日(日) 立ち上がり動作分析セミナー
- ④7月12日(日) 着座動作分析セミナー
- ⑤8月01日(土) 歩行分析セミナー①
- ⑥8月02日(日) 歩行分析セミナー②

【BMTオフィシャル動作分析コース6days in 東京】

理学療法では機能障害あるいは能力低下がどのような解剖学的構造の変化あるいは運動学的機能の変化によって生じたかを明らかにし、能力低下を機能障害に還元して考察することが第一課題となります。

その際に重要なことは、解剖学や運動学といった公理性のある理論を基に仮説をたてることです。

機能障害という命題に対して公理性のある理論、つまりは法則を用いて解答を出す過程こそが理学療法における臨床推論のプロセスです。

しかし、実際の臨床現場で遭遇する機能障害が即座に疾患と結びつくものではありません。

解剖学という構造を理解するための理論と運動学という動きを理解するための理論だけでは、身体運動の分析から障害構造を捉えることはできません。

機能障害を理解するための第3の理論として、力学という身体運動を理解するための理論が必要となります。

そもそも身体運動は厳密に力学的原理に従っています。

したがって身体運動の力学を理解し障害構造を力学的に解釈することは、理学療法を施行する上で有力な手法であるといえるのです。

望ましい運動形態とそれを可能にする筋骨格系による関節運動を公理性のある力学を背景に論理的に推測できれば、より効果的な理学療法を構成できるはずで

BMTは、患者の日常生活活動を制限する要因を動作能力という側面から分析し、動作障害を治療するための基本コンセプトです。

BMTのコースでは、基本動作のメカニズムを座学と実技を通して学び、動作分析の手法と治療のための技術の修得を目指すコースセミナーを開催しています。

【講師】石井慎一郎 【BMT インストラクター】 江原裕作 重枝利佳

【会場】：東京(日本印刷会館)、埼玉東部エリア(さいゆうヴィレッジ)で調整中

詳細確認・お申込み：<http://www.bmt141.jp/> ←BMT ホームページでご確認下さい。



株式会社 風の谷プロジェクト BMT 研究会

BMT OFFICIAL WEB SITE - <http://www.bmt141.jp/>
MAIL : info@bmt141.jp